

# 学術出版と流通，現状と新しい展開

第31回 生物医学図書館員研究会

ユサコ株式会社

増田 豊

順天堂大学2002年11月30日

# インターネットによる学術情報流通 の多様化

ホームページでの研究成果公開

電子論文 (e-print) の普及

- ・電子ジャーナル
- ・プレプリント

図書館 (利用機関) のベンダー化

電子ジャーナルホスト

OPACの公開

e-print Archive

Subject Gateway

# プレプリントサーバ

研究発表における先取権を管理する目的で誕生

未出版論文を無料閲覧

永続的なアクセスは、必ずしも保証されていない

代表的なプレプリントサーバ

- ・ arXiv.org ロスアラモス国立研究所
- ・ Dspace



# 情報チャンネルとナビゲーション

従来学術論文

文献データベース

一般情報

サーチエンジン

Webベースの学術情報

??

# コンテンツアグリゲート

同一のプラットフォームでデータベースや電子ジャーナルを提供し、One Stop Shop環境を提供

Contents Agrigators:  
*ProQuest Information*  
*Ovid Technologies*  
*Elsevier*  
*ISI*  
*EBSCO*

ポータルとしての生存競争

アグリゲートの限界  
パートナーの必要性

# サブジェクト・ゲートウェイ

ある主題領域に特化したディレクトリ型サーチエンジン

EEVL (英国エンジニアリング)

OMNI (英国生物医学)

BIOME (英国生物医学)

AgNIC (米国農学)

「インターネット学術情報インデックス」(東大)

「理工学系ネットワークリソースデータベース」(東工大)

# Open Archives Initiative

プレプリントの活用を当初の目的に設定

サーバの仕様統一し統合検索を実現

Metadata Harvesting Protocolを利用

OAI準拠サーバソフトの供給

# 文献発見後の拡張サービス

所蔵確認

文献複写サービス(またはILL)への発注

電子論文へのリンク(原論文 / 引用論文)  
多様化

Appropriate Copyの必要性



# CrossRef

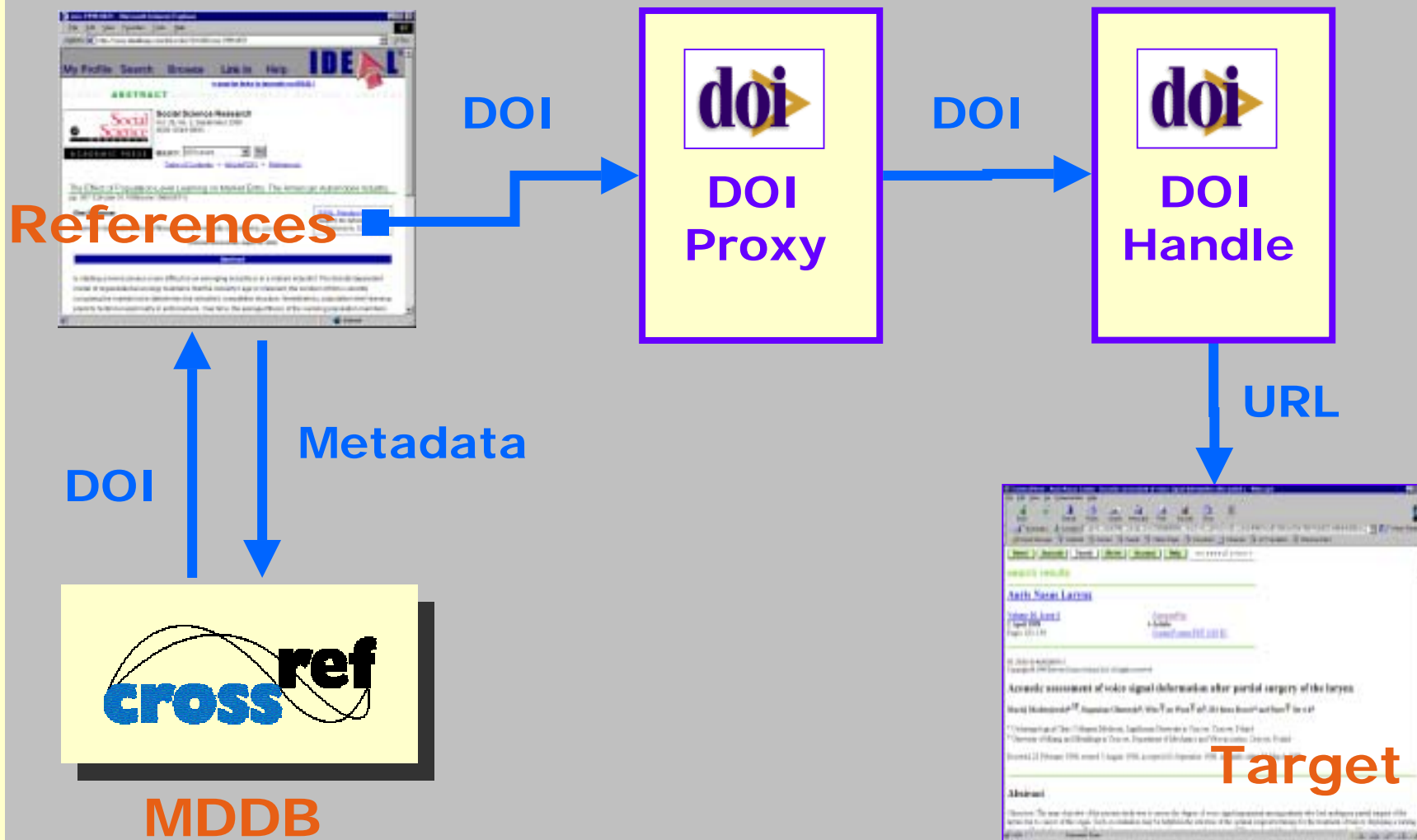
学術電子ジャーナルの引用論文からのフルテキストリンクを出版社の壁を越えて実現するプロジェクト

PILA (Publisher's International Linking Association) が  
運営

DOI (Digital Object Identifier) による管理

CrossSearch ?

# CrossRef / DOI Resolution

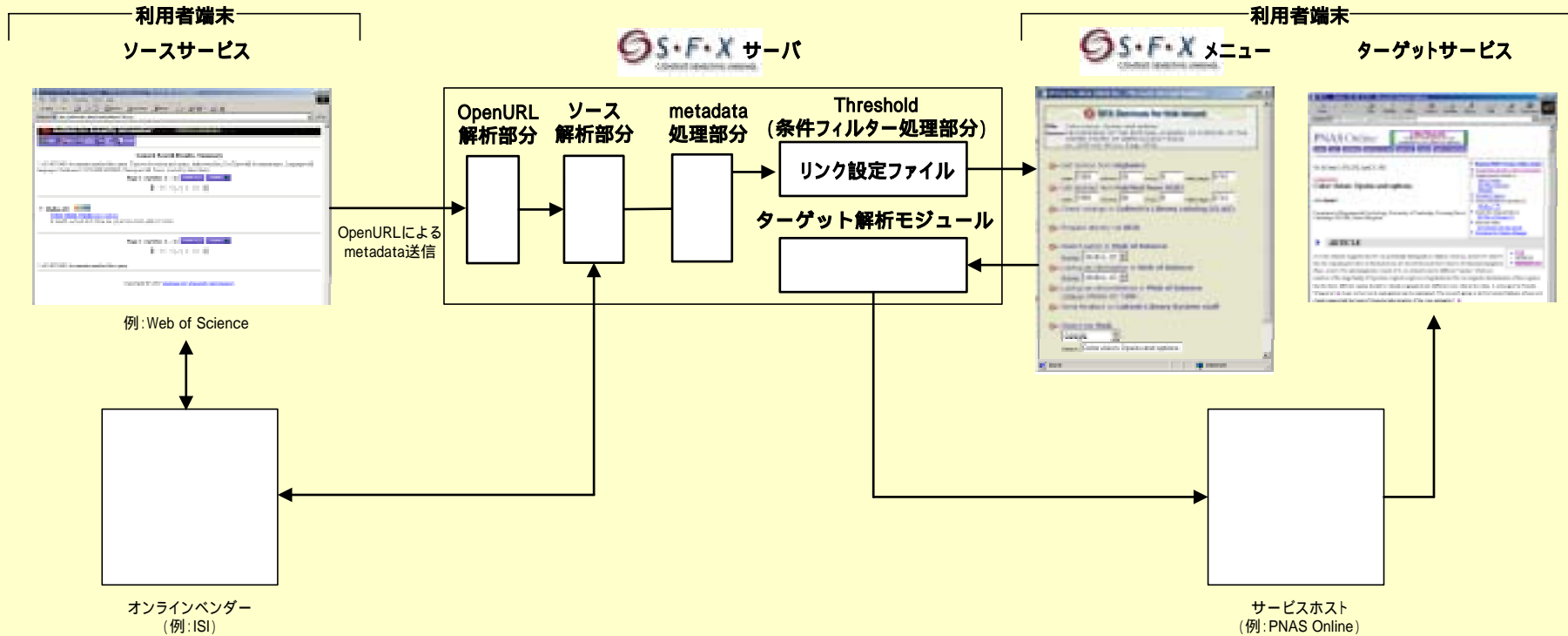


# Appropriate Copyの実現

## 状況判断型のリゾルバーの登場

- ・ S・F・X (Ex Libris社)
- ・ LinkFinderPlus ( Endeavor Information System社 )
- ・ 1 Cate ( Openly Informatic社 )
- ・ Zportal ( Fretwell-Downing社)

# S・F・Xフローチャート



# 電子論文におけるリンクの重要性

情報調査効率の向上

対数量評価(被リンク性の向上)

# 今後の興味

電子論文と学術ジャーナルの形態変化

出版モデルとコスト

- ・Peer Reviewのコスト
- ・プレプリントの影響
- ・広告収入

図書館の役割と業態

- ・インターネット資源の管理
- ・出版？ / ポータルのポータル

冊子体存続のシナリオ

電子資源の品質管理

Comments:

yutakam@usaco.co.jp

masuda\_yutaka@hotmail.com